

令和7年度「地域めぐり懇談会」意見交換の記録

開催日 11月27日(木) 15時00分から16時30分

会場 尾岱沼地域センターきらくる

参加者 10人

全体会「議員定数と議員報酬について」

・特別委員会を設置し、検討した結果には賛同する。ただし、根拠の部分で他の町村と比べての改定はどうかと思う。他の町村に比べて諸問題が多すぎる。定数は増えてもいいのではないかと。削減ありきではない。報酬に関しては、議会だよりや活動内容を聞くと報酬はまだ十分ではないと感じている。なり手不足の要因になっているのでは。本町の未来の発展のために的確な判断をしていただきたい。議会だよりを楽しみにしている。

・議会のことは議会が決めていい。ただし、定数を減らす必要はないと思うので、1名減の理由を教えてください。

(議員発言) 1年半の調査の結果。定数を決めるにはまず委員会の必要人数を決めようということになった。それが7名2委員会。そこに議長を加えた15名が妥当と判断した。報酬も実績に基づく計算であるが、期待値も含んでいる。全道的には高い方になる。

・結構活動していることがわかった。報酬ももっと生活給並みに上げてもいいのではないかと。

・個人的な意見だが、今敢えてやらなくてもいいのかなと思っている。なぜ急に減らして恩恵あるのかなと思っている。議会改革は全道でもトップクラスと思っている。そんな中で今定数を減らす必要があるのかなと思っている。

・報酬の他に車代はもらっているのか。

(議員発言) 1キロにつき30円もらっている。

・議会は何をやっているのかわからない。

総務産業分会「ふるさと納税、OTOMONO、ふるさと交流館再整備」 参加者 7人

【ふるさと納税】

- ・海産物(サケ・エビ・ホタテ)の不漁が続き、返礼品の安定供給と制度継続が心配である。
- ・防災グッズの配付や高齢者交通支援など、基金を町民向け施策に活用してはどうか。
- ・基金はどの程度積み立てられているのか知りたい。

【OTOMONO】

- ・アプリの登録方法がわからず利用できない。サポート体制の場所が不明である。
- ・地域内店舗の数が少なく使いにくい。
- ・導入サポートを増やし、店舗側にも使い方を広めてほしい。

- ・ OTOMONO 予算を全世帯交付金に回す案も考えられるのではないか。

【ふるさと交流館再整備】

- ・ 別海の観光地が少ない中で、交流館をランドマークとして育てていくべきではないか。
- ・ 国道沿いに目立つ看板を設置し、観光客など外部の人への認知度向上に努めるべき。
- ・ 宿泊施設が不足しているため、整備を急いでほしい。

【その他】

- ・ 土日を含め路線バスの利用がしにくく、免許返納が進まない。
- ・ 高齢者の文化活動（芸能発表会など）などイベント時に移動手段を用意してほしい。
- ・ 海岸浸食が深刻で、国への働きかけを強めてほしい。
- ・ 青少年プラザ裏の林を駐車場にし、トイレを洋式化してほしい。
- ・ 地域おこし協力隊同士の連携が弱く、横のつながりを作る仕組みが必要。ミーティングや交流の場を設けてほしい。
- ・ 定住支援（移住情報、資金援助、空き店舗紹介など）を強化してほしい。
- ・ 地域おこし協力隊の働きが地域に伝わりにくいため、成果の共有を進めてほしい。
- ・ 船外機など漁具の補助金を増額してほしい。
- ・ 飲食店が少なく、観光客や住民が不便。移住して飲食店を開く人への補助や空き店舗仲介をしてほしい。
- ・ 津波警報時、避難所の現場対応が混乱し、地域職員だけでは不足。本庁からの応援体制を強化してほしい。
- ・ 嵐で警報が発令されている際、役場に連絡しても担当につながらず困った。緊急時の連絡体制の改善が必要。
- ・ 防災セットを全戸配付してほしい。
- ・ 役場職員の業務量が過重になっている部署がある。管理体制は適正か確認してほしい。
- ・ 役場のメール返信に時間がかかりすぎる例があり、職員の基本的対応を改善してほしい。
- ・ 定数減について、1名減はよく決断したと思っている。意思を尊重する。

福祉文教分会「子ども・子育て支援、高齢者支援」 参加者 3人

【子ども・子育て支援】

- ・ 別海病院の発熱外来をやめてほしい。電話が繋がらない。仕事を1日休まないと子どもを受診させるのも大変。
- ・ 診療所でインフル・コロナを以前のように診てほしい。

【高齢者支援】

- ・ 外出サービスは助かっている。
- ・ バス・ハイヤー共通利用券を使うところがない。交通手段が自家用車しかない。免許返納すると移動も

困難。

- ・ライドシェアを地域有志で開始することから、バス・ハイヤー券をライドシェア運賃に使えるようにしてほしい。
- ・独り身でこの先高齢になった時、この土地で生活していけるか不安。
- ・ケアする側の教育（指導）不足。家族ケアの知識サポート体制がもっと必要では？

【その他】

- ・燃えないごみとプラスチックごみの分別が難しい。
- ・雑がみ回収を、釧路のように業者が容器や袋を設置して回収する形にできないか。
- ・別海に地域公共交通計画がない。国交省から指導も来ているはず。